

放射性物質測定分析業務開始のご案内

当事業団では、東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所からの放射性物質漏洩事故発生直後から、三重県内の放射性物質測定分析分野のリスク管理に向けて、分析体制の整備を行い、平成 23 年 7 月 25 日より測定分析業務を開始しております。

主な測定分析方法は、以下に示したとおりです。

ゲルマニウム半導体検出器を用いた 線スペクトロメトリーによる核種分析

分析項目: I-131、Cs-134、Cs-137 など(その他の放射性核種の測定も可能)

分析方法: 緊急時における食品の放射能測定マニュアル

肥料中の放射性セシウム測定のための検査計画及び検査方法

分析対象: 飲料水、環境水(地下水、河川水、海水含む)、排水、土壌、汚泥、廃棄物、堆肥・肥料、食品(米、農産物、牛肉、牛乳、農産物、海産物など)、製品など

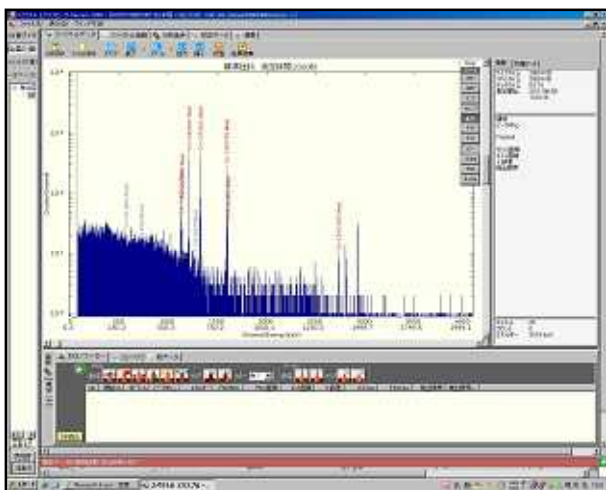
試料量: 2kg以上

検査納期: 2～5日(検査状況によっては、遅れる場合もあります)

基本料金: 16,000 円(税別、容器発送料・試料採取料は別)。

検査料金は、測定時間及び検出下限値の変更、前処理の実施有無により料金が加算されますので、お問い合わせ下さい。

搬送方法: 試料毎にポリビン又はビニール袋に入れ、密閉して、お持込又は宅配便でお送り下さい。



ゲルマニウム半導体検出器測定画面



ゲルマニウム半導体検出器



試料(U-8 容器)

Nal シンチレーションサーベイメータによる放射線量測定(空間線量測定)

測定方法: 線 Nal シンチレーションサーベイメータ

報告単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定対象: 公共施設(学校など含む)・職場・自宅・公園等における放射線量測定

測定場所: 指定の場所及び高さ

検査料金: お問い合わせ下さい

工業製品などの放射線量測定(スクリーニング測定)

測定方法: 線 Nal シンチレーションサーベイメータ

又は、()線 GM 計数管式サーベイメータ

報告単位: 計数率(cps)

測定対象: 工業製品、汚泥、廃棄物など

測定条件: 持ち込み又は現場測定

検査料金: お問い合わせ下さい



Nal シンチレーションサーベイメータ



GM 計数管式サーベイメータ

- 検体をご依頼頂く場合の注意事項 -

測定後の試料(液体試料は除く)は、原則、ご返却させていただきます。

試料の形状によっては、依頼をお受けできない場合がございます。

サーベイメータによるスクリーニングの結果、高濃度放射線が検出された場合は、検査をお断りさせていただきます。

ご相談は下記連絡先までお願いします。

連絡先: 調査環境分析課 古川

TEL: 059-245 7508